

冬の星座

藤田 栄一

♪「ほのぼの明かりて 流るる銀河
オリオン舞い立ち すばるはさざめく」

ウィリアム・ヘイス作曲、堀内敬三作詞の冬の星座である。澄み切った冬の夜空に、この曲を聴きながら「すばる」をながめると、上空の寒風に気流が乱れ、星の輝きが一段とふるえて燐めく。

ロマントピア天文台の大型望遠鏡で「すばる」星団を観察すると、無数の青白い星たちが淡いガスに覆われてぼんやり滲んで見える。

この星団、ギリシャ神話ではプレアデスの美しい7人姉妹が踊ってるそう、薄い羽衣のゆらめきが新体操の円舞をみてるよう。この冬の季節、星団の左下に位置する明るい星メローペがとりわけボヤーと霞んで見える。

若い美女メローペひとりが地上の青年と恋したため、星空に飛び立つ時、7人姉妹の編隊に手を引かれながら、最後尾で流した別れの涙だそうな……。

「すばる」の英名はプレアデス星団、地球からの距離は410光年の散開星団、光の速さで410年かかる。多くの散開星団は1300光年以上、星団の中では近いほうなので特徴がよくわかる。

地方では六つ連なっているのでむづら星、羽子板星、あるいはごちゃごちゃ星ともよばれてわかりやすい。清少納言の枕草子では「星はすばる、ひこ(彦)ぼし、ゆうづつ(宵の明星)、よばい星……」と美しい星たちの筆頭にあげられている。

この星団はみな同じくまとまっているという意味の古語「^す統まる」から「すばる」と名付けられた純然たる和名。よく、世間では「スバル」とカタカナで書かれているのをみると、富士重工スバル自動車のネーミングの影響で、英語名と思われている。

ところでスバル社は星好きなようで、全車種のフロントエンブレムにプレアデス星団のマークがついている。しかも実際の星団の配置にほぼ近いすぐれたデザインである。さらにすばる星団の一番明るい星、アルキオーネがスバル自動車の青いフラグシップスポーツカー「アルシオーネ」に使われている。もう20年も前になる絶版車だが魅力的な輝きを放っていたのがなつかしい。

プレアデス星団のアルシオーネ、メローペ付近をロマントピア天文台の大型望遠鏡で眺めるとみなさんも淡く青い輝きに見とれるかも。

(ロマントピア天文台台長)



「すばる」 撮影: 藤田栄一 1997年
Canon F1.8 600mm 60秒ガイド
ISO1600フィルム
場所: 原ヶ平、聖愛高校屋上



平成30年度（第49回）弘前市小・中学生読書感想文コンクール

「平成30年度（第49回）弘前市小・中学生読書感想文コンクール」の入選者が決まりました。
たくさんのご応募ありがとうございました。

- 入選者のうち第1席から第3席までの方には、11月24日（土）に表彰式を開催し、賞状と賞品をお贈りしました。佳作の方には、賞状と賞品を、努力賞の方には、賞状を後日お贈りします。
- 応募総数 ・小学生の部 196点（21校）……入選39点
・中学生の部 172点（8校）……入選30点
- 佳作以上の作品は『文集はと笛』2018年版に収録します。
(努力賞につきましては、入選作品のタイトル・所属校・氏名のみ掲載となります。)

〈入選者・入選作品〉

《小学校》

《中学校》

☆3学年の部

第1席	命とお金の大切さ	三大小	桑村 大智
第2席	『音楽室の日曜日』	松原小	齋藤 莉緒
第3席	『100万回生きたねこ』を読んで	大成小	小堀 和華
佳作	『最後のオオカミ』を読んで	豊田小	阿保 空斗
佳作	『お昼の放送の時間です』を読んで	福村小	造田陽央里
佳作	大切なものの	三大小	對馬 瑞音
努力賞	『すごいね！みんなの通学路』を読んで	福村小	古川 舞桜
努力賞	『いのちは見えるよ』を読んで	福村小	石郷岡悠乃
努力賞	『最後のオオカミ』を読んで	附属小	長谷川之和

☆1学年の部

第1席	『ある晴れた夏の朝』	第一中	鎌田 莉央
第2席	善と惡の選択	附属中	齋藤 舞衣
第3席	和菓子、洋菓子、はなやかなのは？	附属中	小島 わこ
佳作	生かされ生きぬくこと	附属中	永井 嘉泰
佳作	小さなつながりの大きな世界	附属中	葛葉 小雪
佳作	私も『また次の春へ』	附属中	三上 玲央
努力賞	伝えたい、いつまでも	第一中	佐々木まこ
努力賞	『不安』を「チャレンジ」へ	第一中	宮内 琉蘭
努力賞	『努力』の本当の意味	第一中	工藤 乃愛
努力賞	理想の生き方を追い求めて	附属中	田中ななみ

☆4学年の部

第1席	みんなの通学路が安全になるといいな	附属小	山口 青空
第2席	みんなで助け合う	三大小	丹代 音澄
第3席	仲のよい友達	三大小	伊藤 咲結
佳作	『しっぱいにかんぱい』を読んで	城西小	坂本あおい
佳作	がんばるということ	三大小	建部 佑斗
佳作	戦争から学んだこと	三大小	藤田 亜望
佳作	『くもの糸』を読んで	福村小	千葉 晴登
努力賞	『捨て犬・未来と捨てネコ・未来』を読んで	大成小	田中 幸実
努力賞	『大どろぼうホツツエンプロツツ』を読んで	堀越小	外崎みつき
努力賞	『ココロ屋』を読んで	福村小	中畠 結衣

☆2学年の部

第1席	『火垂るの墓』を読んで	附属中	三浦 夏帆
第2席	『一〇五度』を読んで	附属中	川村 勇太
第3席	『代筆屋』を読んで	附属中	北山 沢
佳作	『名人伝』を読んで考えたこと	新和中	高橋 香圭
佳作	自分に必要な力	第一中	三浦 可帆
佳作	誰かのために	第二中	竹森 菜奈
努力賞	『犠牲』の意味	附属中	三ツ谷虹珠
努力賞	偽りの自分	附属中	高橋 花香
努力賞	伝えたいこと	附属中	福島 凛乃
努力賞	不自由ない生活と不自由な生活	津軽中	石田 乃々
努力賞	主人公に重なる自分	第二中	小田桐 佑

☆5学年の部

第1席	正義のヒーローとは	附属小	林 大晴
第2席	苦しくても最後まで精一杯がんばる	城西小	佐々木理子
第3席	『星の王子さま』を読んで	大成小	立田 美月
佳作	命は一つだけ	文京小	齋藤 伊輝
佳作	どんなことがあっても冷静に	三大小	赤川 伴弥
佳作	これからも平和を願って	東 小	落合さくら
努力賞	むずかしいけど楽しくなれた	時敏小	原田 健
努力賞	『ロザリオの祈り』を読んで	大成小	山内 謙心
努力賞	『校長先生、がんになる』	高杉小	山本 琴奏

☆3学年の部

第1席	いつだって「人間」であるために	附属中	小島 にこ
第2席	彼に手紙を書けるなら	附属中	西田 その
第3席	『にじいろガーデン』	第二中	佐藤 和奏
佳作	本当の自分を	第一中	鎌田 笑歌
佳作	『永遠の0』を読んで学んだこと	附属中	三上 萌衣
佳作	私の幸せ	南 中	対島 蘭
努力賞	『幽霊人命救助隊』	第一中	千葉未優梨
努力賞	『坊ちゃん』を読んで	第三中	工藤理映子
努力賞	戦争はフィクションの中だけで	第四中	石岡 翼

☆6学年の部

第1席	出会いはすべてを変える	附属小	葛西華那心
第2席	そうじとディズニーの魔法	福村小	漆館 野乃
第3席	可能性は無限大	附属小	葛西 心美
佳作	『考動』について	附属小	福村 悠人
佳作	天使が教えてくれたこと	三大小	大湯日花里
佳作	『アンネ・フランク物語』を読んで	城東小	荻野 桜子
佳作	改めて気づいた森林の大切さ	福村小	造田紗央音
努力賞	戦争を忘れない	附属小	三上 莉礼
努力賞	人の命と優しさ	附属小	成田 歩未
努力賞	命を預かる責任	文京小	神 さくら
努力賞	幸せとは何か	朝陽小	成田 心優



第1回 弘前市立図書館を使った調べる学習コンクールを開催しました

「図書館を使った調べる学習コンクール」とは、身近な疑問や不思議に思うことなどをテーマに決め、図書館にある資料（新聞や雑誌を含む）やインターネットなどを使って調べた結果を、まとめて作品にするコンクールのことです。今年度から新たに弘前市教育委員会と弘前市立図書館が主催しました。調べることで、生きる力・考える力を養い、生涯を通じて学ぶための大きな力、さまざまな情報から自らが必要とする情報の集め方や取捨選択の仕方を学ぶことができます。



コンクールに向けた弘前市立図書館の取り組み

弘前市内の小学校で、調べる学習コンクールの周知も兼ねて「調べ学習」の講座を開きました。今年は3校を訪れ、「ねぷた」「弘前城」「りんご」といったテーマについて、日頃から疑問に思っている事を考えたり、本を使って実際に調べたりしてもらいました。

また、弘前図書館のロビーに「調べる学習コンクール」のコーナーを作り、過去の受賞作品のレプリカやポスターを展示しました。



小学校での講座の様子



レプリカ・ポスターの展示

入選作品発表と表彰式が行われました

11月3日に弘前図書館で入選作品発表と表彰式が行われ、6作品が受賞しました。

	作品名	名前	部門
最優秀賞	ニホンザリガニをさがしだせ！！ ーぜつめつきぐしゅのだいそうくー	高山 京 慧 (たかやま たかとし)	小学生の部
優秀賞	雲って一体何だろう？？ 不思議に思うことを調べてみたい	古川 卓 弥 (こがわ たくや) 古川 富実代 (こがわ ふみよ)	子どもと大人の部
優良賞	本の二つのバーコードのなぞ	島田 逸 生 (しまだ いつき)	小学生の部
佳作	どうぶつのたべもの ふしぎしらべ	高杉 純 佳 (たかすぎ ひろか)	小学生の部
佳作	鳥の漢字の由来	八嶋 勇乃心 (やしま ゆうのしん)	小学生の部
佳作	月のふしぎ！	宮崎 奏 和 (みやざき かなと)	小学生の部



最優秀賞受賞者の作品



入選者とコンクール主催者ら



弘前市立図書館 催し物報告 9月～11月

9/8 (土) こども絵本の森
こども絵本の森開館5周年記念イベント

絵本の森で遊ぼう！

当日は子どもと大人を合わせて68名が参加してくださいました。絵本作家きたじまごうき先生と高橋徹先生によるお手製楽器や体全体を用いたパフォーマンスや読み聞かせが行われ、普段とはひと味違うおはなし会に子ども達は大喜びでした。パントマイム・皿回し・ジャグリングを間近で見ることができて、子どもも大人も大興奮。体験した子どもたちも嬉しそうにしていました。

M-Session れーじさんによるミニコンサートでは、誰もが知っている曲の演奏にみんなで喜んで楽しみました。ウインドシンセサイザー・電子ドラム・ハーモナイザーなど、普段はなかなか目にしない楽器がたくさんあり、最初は恥ずかしがっていた子ども達も、体験するうちにどんどん積極的になって楽しんでいました。2013年に開館し、年々利用者を増やしながら今年で5周年を迎えたこども絵本の森。これからもよろしくお願い致します。



大道芸パフォーマンス



ミニコンサート



手作り楽器はどんな音がするのかな？

9/15 (土) 弘前図書館

全国訪問おはなし隊がやってきた！

弘前図書館に全国訪問おはなし隊のキャラバンカーが遊びに来てくれました。ピンクの大きなキャラバンカーに子どもたちは興味津々の様子で、中に積んである絵本を楽しそうに読んでいました。おはなし会にもたくさんのお友だちが遊びに来てくれて、とても楽しいおはなし会になりました。



キャラバンカーと弘前図書館

9/29 (土) 弘前図書館

おはなしと読み聞かせ講習会

第35回おはなしと読み聞かせ講習会が行われました。図書館で読み聞かせボランティアを始めてみたい方を対象に、絵本の読み聞かせの技術指導、プログラムの選び方やブックトークなどを行いました。

10/6 (土) 弘前図書館

バリアフリー映画会

バリアフリー映画とは、字幕や音声ガイドが入る事で一般の方のほか、視覚や聴覚が不自由な方でも楽しめるよう工夫された映画のことです。

当日は、170万部を超える小説の実写化であり、「映画館大賞」などに選出された感動作「西の魔女が死んだ」を上映しました。早くも次回開催を望む声をいただきました、多くのお客様に楽しんでいただきました。



上映前の様子



10/13 (土) 弘前図書館

講座・短歌を作ろう

初心者を対象とした短歌の作り方講座を開催しました。講師は、弘前市立図書館の館長職の傍ら、歌人として活躍している山谷英雄（NHK学園短歌講師、歌誌「運河」代表）が務め、当日は11名の参加者が短歌づくりに勤しました。短歌の基本を説明し、青森県出身の歌人たちを紹介したあとに、講師が用意した帽子を見てその場で実作をしていただきました。出来上がった受講者の作品をもとに作歌のコツを講師がわかりやすく説明しました。また、希望者には講師がその場で添削もしました。講座には子供連れの参加者もいて、終始和やかで充実したものでした。



帽子を題材に一首詠む場面も

10/27 (土) ~ 11/9 (金)

読書週間に向けた取り組み

弘前図書館

弘前図書館のスタッフが選んだおすすめの本50冊を、推薦本のポップとともに「弘前図書館スタッフが選ぶ児童書 Best50 !!」として児童コーナーに展示しました。

スタッフお手製のポップで本を紹介。
大勢の方に借りていただきました。

岩木図書館



10月27日からの読書週間に合わせて3つの展示を行いました。1つ目は気軽に手に取れるエッセイを中心に集めた「一日の終わりにのんびり読書」。2つ目はお客様やアップルウェーブ株式会社のみなさんがおすすめする本を集めた「みんなのおすすめ本」。3つ目は児童室の「日本の昔話」でした。期間中は来館者プレゼントとしてスタッフお手製のしおりをご用意しました。

こども絵本の森



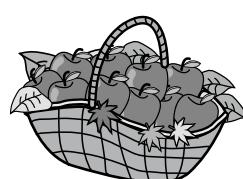
読書週間のイベントとして、こども絵本の森では10月1日からりんごの形をしたカードにおすすめの本を書いて貼ってもらいました。それらの本は、読書週間期間中に展示・貸出を行いました。貼ってあるりんごを見ると、好きな理由を書いてあるものやイラストを描いているものなど、それぞれが自分なりの表現で書かれていました。どのカードも、自分で読んでみたくなるような魅力的なものばかりでした。



みんなのおすすめ本コーナー



スタッフお手製のしおり



りんごの実がたくさん実りました

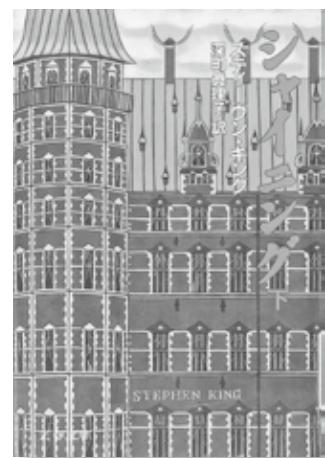


『シャイニング(上) (下)』

スティーヴン・キング/著 深町真理子/訳 文藝春秋 1986年

舞台は冬季休業をひかえた山間の壮麗なホテル。主人公の一家はその間の管理人として、歴史あるホテルに滞在することになるのですが……。豪雪に閉ざされた空間で徐々に変容していく登場人物の心理描写と、ホテルそのものの不気味な存在感に引き込まれます。

微妙な均衡の上に成り立っていた日常が、最も身近な家族というつながりが、極寒の極限状態で崩壊していく。寒い夜に心の芯から冷える一冊です。



『北ぐにの人生』

小檜山博/著 講談社 2003年

北海道では絶大な人気を誇る作家小檜山博が、「週刊つり新聞 ほっかいどう」などに発表したエッセーをまとめた1冊です。著者の極貧の生い立ちや好きな酒のこと、またその肴のこと、ひとの生き方などについて誠実に綴った滋味あふれる、大人のためのエッセー集です。今までの人生を振り返り、これから的人生を力強く生きようとするあなたに是非読んでいただきたいイチオシの本です。おすすめします。



『チリとチリリりゆきのひのおはなし』

どいかや/作 アリス館 2010年

チリチリリ。チリチリリ。初雪が降り始めた午後、チリとチリリは自転車で出かけます。どんどん進んでいくと、辺りは一面雪景色になりました。氷の扉があり中に入ると大広間にはみんながいました。花のつぼみが凍っているビー玉で遊んだり、大きな温泉にみんなで入ったりと、動物たちもチリとチリリも楽しそう！夜は星空の見えるコテージで眠ります。ほのぼのした絵とおはなしを読んでいると、心がほっこりしてきます。

寒い夜は、絵本を読んでぽかぽかになりませんか？



今回のテーマ

寒
い
夜
に

『てぶくろをかいに』

新美南吉 /文 若山憲 /絵 ポプラ社 1972年

「おかあちゃん、おててがつめたい、おててがちんちんする。」雪で両手がぼたん色になってしまった子ぎつね。片方の手を人間の子どもの手に変えてもらい、こぎつねは町の帽子屋へ。そこで、かあさんぎつねから決して出してはいけないと言われていた方の手を帽子屋に出してしまうのですが……。子ぎつねの愛くるしさと、子を想うかあさんぎつねのやさしさに心がぽかぽかあたたまる一方で、「ほんとうに、にんげんはいいものかしら」というかあさんぎつねの言葉が、抜けない棘のようにチクチクと刺さります。



テーマで選ぶおすすめの本

『オーロラ・ウォッチングガイド』

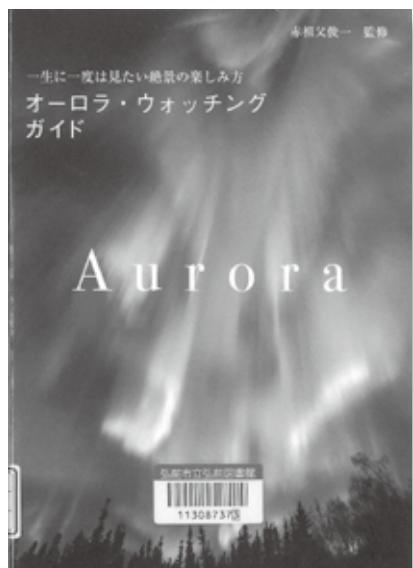
赤祖父俊一 /監修 誠文堂新光社 2018年

テレビでは誰もが見たことのある「オーロラ」を、思い切って現地に見に行きませんか？

この本には、オーロラの入門知識はもちろんのこと、「ウォッチングガイド」の名の通りオーロラを見に行くために必要な準備物や、綺麗に撮影するための機材や方法がわかりやすく紹介されています。

後半では、世界中のオーロラ鑑賞スポットの紹介のほか、なんと自宅に居ながらオーロラを鑑賞できる工夫も！？

巻末には、写真好きには嬉しい撮影時のデータも掲載する等、オーロラを楽しみ尽くすための一冊です。



『ひろさき読解本』

津軽ひろさき歴史文化観光検定実行委員会 /編集

公益社団法人弘前観光コンベンション協会 2018年

この本は、弘前市のご当地検定である「津軽ひろさき歴史文化観光検定」の公式テキストとして2013年10月に刊行されました。その後起こった出来事や新しくできた施設等の新しい情報を盛り込み最新のデータに改めたものが、2018年7月に改訂版として発行されました。弘前の歴史、文化、観光、温泉、著名人など、様々なジャンルごとに17章にわたって紹介されており、読むと弘前の「おべさま」になれる一冊です。

郷土資料紹介



12月～2月 図書館これからの予定

※詳細につきましては後日発表いたします。

日程・開催場所	イベント名	内 容
12/9 (日) こども絵本の森	「おおきなだっこで絵本の時間～パパ！じいじ！これ読んで～」	絵本の読み聞かせについて「何を、どう読んだらよいか分からない」という男性のお悩みにサポート者が様々な方法を提案。
12/15 (土) 中央公民館岩木館	おはなしクリスマス会	おはなしボランティア「テラーズ」による読み聞かせと、クリスマスツリーの工作。
12/22 (土) 弘前図書館	クリスマスおはなし会	おはなしボランティア「おはなしるんるん」による読み聞かせ。
12/22(土)～1/14(月) こども絵本の森	冬休みおはなしクイズラリー	クイズラリーやおはなしの間違い探しなど。
1/19 (土) 弘前図書館	児童作家講演会	『きみ、なにがすき？』の作者はせがわさとみ先生による講演会。
2/23 (土) 弘前図書館	第2回市民講座	弘前市在住の絵本作家ささやすゆき先生による講演会。

移動図書館車 巡回お休みのお知らせ

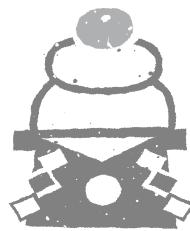
2月27日(水)に予定しておりました城東小学校の巡回は、都合によりお休みさせていただきます。

弘前市立図書館 年末年始休館のお知らせ

12月29日(土)から1月3日(木)までの6日間、弘前図書館、岩木図書館、相馬ライブラリーは年末年始の休館となります。また、こども絵本の森は下記の通りの開館となります。

〈こども絵本の森 開館日程〉

- ◆12月29日(土)、12月30日(日) 10:00～18:00
- ◆12月31日(月) 10:00～15:00
- ◆1月1日(火) 休館(ヒロロ全館休業の為)
- ◆1月2日(水)、1月3日(木) 10:00～18:00



弘前図書館	開館時間	平日 9:30～19:00
	休館日	土・日・祝日 9:30～17:00 毎月第3木曜日(但し、その日が祝日の場合は直後の平日)
	電 話	年末年始・蔵書点検期間 32-3794

こども絵本の森	開館時間	10:00～18:00
	休館日	毎月第3木曜日(但し、その日が祝日の場合は直後の平日)
	電 話	蔵書点検期間 35-0155

岩木図書館	開館時間	平日 9:30～19:00
	休館日	土・日・祝日 9:30～17:00 毎週月曜日・年末年始・蔵書点検期間
	電 話	82-1651

相馬ライブラリー	開館時間	9:30～17:00
	休館日	毎週水曜日・年末年始・蔵書点検期間
	電 話	84-2316

発行：弘前市立図書館 指定管理者 TRC・アップルウェーブ・弘前ペンクラブ共同事業体

